



秦野市社会福祉協
議会のHPから閲覧
できます



まなざし

秦野市民生委員児童委員協議会

【発行人】田村正一

【編集】広報部

【連絡先】〒257-0054

秦野市緑町16番3号

TEL 0463 (84) 7711

災害に備えて

～千村第2自治会と民生委員の連携～



自治会の防災活動に関わっている千村第2自治会の民生委員さんにお話をうかがいました。

Q.なぜ、防災活動に関わるようになったのですか？



防災を考えると、地区の一人暮らしの高齢者や高齢者世帯への支援も大切なことなので、民生委員が関わることになりました。

Q.どのような活動を行っていますか？



「知る」「体験する」「調査する」という活動です。任期でメンバーが変わるので、何度も繰り返して継続していくことが大切だと思っています。

Q.今後について教えてください。



民生委員の人たちだけでなく地域の人たちと協力し、みんなで防災弱者（避難行動要支援者）を守っていく活動を続けていこうと思います。

千村第2自治会では、自治会長や自治会内の防災指導員、民生委員を中心に3年前から災害に備えて、様々な取り組みを行っています。参加しやすいよう講習は自治会総会後に実施。マップ作りは高齢者にも分かりやすいようになど、様々な工夫をしています。

知る

- ① 講習『避難所の状況から日ごろの備えを考える(秦野市防災課)』
- ② 講習『災害時の防火対策(防災士)』

体験する

- ① 水消火器を使った消火実技
- ② 簡易トイレの組立
- ③ 非常時の食事体験



調査する

- ① 自治会一時避難場所
- ② 災害時避難道路
- ③ 防犯灯



➔ 防災マップ作成

誰もが安心して暮らせるまちを目指して

じ へいしょうじ しゃおや かい
～ 自閉症児・者親の会からのメッセージ ～

秦野市自閉症児・者親の会 会長 山口一美様

毎年4月2日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」で、世界各地において自閉症に関する啓発の取り組みが行われています。

秦野市では障害部会の民生委員さん達のご協力を得てイオン秦野店の正面玄関前で啓発のチラシ入りティッシュを配布いたしました。毎年多数の民生委員さんにご参加いただき、今年は「丹沢三兄弟」の着ぐるみも登場し、小さいお子さん連れのお客様にも好評でした。



「自閉症」は脳機能の発達に関係する生まれつきの障害です。
しつけや家庭環境のせいではありません。

自閉症って!?



出典:川崎市自閉症協会

自閉症の方が苦手な事

言語的・非言語的に他者との
相互コミュニケーションが苦手

- × 相手の立場に立って考える
- × 気持ちを読み取る
- × 曖昧な表現
(「ちょっと」「もう少し」など)

自閉症の方との コミュニケーションの工夫

理解しやすい簡潔で静かな会話、
指示を出す時は具体的に

- 具体的な表現や数字を使うとわかりやすい
「〇時に〇〇に来てください」
「〇個必要ですか?」など
- 写真や絵を使って伝える
耳からの情報はイメージしにくい
- 見通しがわかるよう時系列で伝える
- 圧迫感のない声や態度で接する
- こだわりを理解する
一般的には些細なことでも本人には重要な意味をもつ

地域の皆様と共に

自閉症の人はそのアンバランスな発達のために周囲に理解しにくい行動をとり、理解しにくい人たちと思われるかもしれません。そのために偏見や誤解が生じてくるのです。自閉症の人の行動の意味を考え「良い点」を見つけるようにしていただくと、社会の中で生き生きと暮らすことができるのです。

私たち「秦野市自閉症児・者親の会」は、ここ秦野市で地域の皆様のお力をお借りして、自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害のある人、そのご家族そして共に生きる地域のすべての人たちが自分らしく安心して暮らせる「共生社会」の実現を願い、様々な活動をしています。

高齢者の皆様が西・上地区で
自分らしく住み続ける相談窓口

西地域高齢者支援センター



西の保健室 らくらくクッキング



西の保健室 もしも災害が起きたら

私たちが暮らし、作り、守ってきた街だからこそ、 最期まで元気に暮らせる街を目指して！

当センターは、保健（医療）・福祉・介護の専門職らが、西地区・堀川地区民生委員児童委員の皆様と協働して、日々業務に取り組んでいます。相談件数も年々増加し、年間延べ対応件数は、約1万5千件となっています。「迅速」・「丁寧」・「正確」を理念に挙げ、自分事として取り組む気持ちを大切に、日々相談業務にあたっています。

昔と異なり三世同居が少なくなったことで身近な生活上の困り事、健康や認知症への不安、詐欺被害を受けても誰に相談したらよいかわからず不安を抱えている方からのご相談が増えています。そこにコロナ禍で地域の繋がりが希薄になってしまった状況があります。

そこで、当センターでは、一人暮らしや高齢者世帯の方へ、孤食や閉じこもり予防で「西の保健室」を定期的に開催し、生活上の工夫を楽しく学べる機会の他、地域の通いの場や人の繋がりができるイベント開催に取り組んでいます。また、ご家族を看取ったご遺族や今まさにご家族の介護をされている方には、当センターのボランティアとして、同じ境遇の方への傾聴やイベントのお手伝いなど活躍の場の提供にも取り組んでいます。

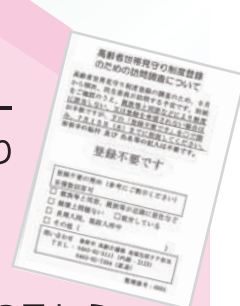


令和8年度 高齢者世帯見守り制度 一斉調査について

市では、高齢の方の緊急時対応や、民生委員や地域高齢者支援センターの職員による見守りを行う「**高齢者世帯見守り制度**（秦野市在宅ひとり暮らし高齢者等登録制度）」を運用しています。

この制度は、**3年に1度**、登録の対象となる世帯へ一斉調査を行うものです。今年がその実施の年にあたるため、対象の方へは**郵送**で登録希望調査書をお送りしました。回答で「登録不要」とされていない方には、9月から**民生委員がご自宅を訪問し**、制度及び登録の説明を行っています。

地域での見守り体制をより強くするための大切な調査ですので、一斉調査へのご理解をお願い申し上げます。
(秦野市高齢介護課)



われらの仲間 (第13回)

この欄では、特技や趣味などを持った
民生委員・児童委員を紹介しています

おお くさ ち あき

大草千秋さん

(末広地区民児協)



～オカリナと共に～

オカリナと出会って二十数年経ちました。誘ってくださった先輩ご夫婦に、とても感謝しています。オカリナは、手軽で、比較的始めやすい楽器ですが、気温や体調等で音色が変化し、複数で演奏すると音が揃いません。思いのほか奥が深く、難しい楽器です。お仲間との練習で、音が重なり、響き合う時、嬉しさを感じます。一人の演奏も心地よいのですが、ピアノ、ギター、打楽器、合唱等とのコラボが最高に楽しい気分になります。

練習の成果を定期演奏会や各種イベントで披露したり、依頼を受けて福祉施設、病院、学校等で演奏や体験教室をしたりすることもあります。先日は高齢者のサロンで演奏させていただきました。「青い山脈」「高校三年生」等の懐かしい曲を演奏し、皆さんの歌声が会場に響き、とてもよい時間を過ごすことができました。地域に貢献できる喜びや多くの人との出会いも自分の宝物です。これからも健康に気をつけ、楽しく活動を続けていきたいと思っています。



編集後記

まなざし第112号はいかがでしたでしょうか？

今回ご紹介した西地域高齢者支援センターを含め、秦野市には全部で7ヶ所の支援センターが設置されています。私が運営をお手伝いしている高齢者サロンでは、センターの皆さんに大変お世話になっています。月一回のペースでサポートに来ていただき、認知症予防のコグニサイズや、間違い探し、計算問題などの脳トレ、季節を感じる工作など、毎回楽しく指導して下さいます。私達民生委員にとっても、一番近くで親身に相談に乗ってくれる心強い存在です。高齢者ご本人はもちろん、ご家族の方もぜひお近くのセンターを知っていただき、困った時は気軽にご相談いただければと思います。

E.Kurita

5月12日は民生委員・児童委員の日
各地区で民生委員の
啓発活動を行いました。

福祉・子育ての相談相手
民生委員・児童委員はあなたの身近な相談相手です
相談はあなたの身近な民生委員・児童委員へ
秦野市民生委員児童委員協議会

市内4駅で
ティッシュを配布

